

令和8年度 第48回全国公民館研究集会 第60回東海北陸公民館大会 愛知大会

大会役員

顧問	鹿熊久三	公益社団法人全国公民館連合会 名誉会員
大会長	松永裕和	東海北陸公民館連合会 会長・愛知県公民館連合会 会長
副大会長	中村准	東海北陸公民館連合会 副会長・福井県公民館連合会 会長
運営委員	中西彰	公益社団法人 全国公民館連合会 会長 (富山県公民館連合会 会長)
	慶野誠	公益社団法人 全国公民館連合会 事務局長
	若宮圭輔	岐阜県公民館連合会 会長
	竹上勉	石川県公民館連合会 会長
	松森義郎	福井県教育庁生涯学習・文化財課 課長
	出蔵加津代	福井県公民館連合会 事務局長
	中川武志	富山県教育委員会 生涯学習・文化財課 課長
	本田正則	富山県公民館連合会 事務局長
	桂川義彦	岐阜県環境エネルギー生活部 県民生活課 課長
	河口洋二郎	岐阜県公民館連合会 事務局長
	小山内裕之	石川県教育委員会生涯学習課 課長
	森田勝	石川県公民館連合会 事務局長
	木全貴治	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 課長
	北島亨一	一宮市教育委員会 生涯学習課 専任課長
	竹内章浩	愛知県公民館連合会 副会長
	加藤洋子	愛知県公民館連合会 副会長
	西郷好則	愛知県公民館連合会 副会長
	夏目守雄	愛知県公民館連合会 副会長
事務局長	山本宗雄	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 担当課長
事務局次長	地福真紀子	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 課長補佐
事務局書記	都筑太	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 主査
	今田宗孝	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 主査
	辻麻希	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 主席社会教育主事
	石原清史	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 嘱託員

來賓

藤岡謙一様	文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 課長
江口幸雄様	愛知県副知事
島倉誠様	愛知県議会議長
中野正康様	一宮市長
渡辺之良様	一宮市議会議長
瀬瀬知行様	愛知県教育委員会教育長
加納澄江様	愛知県教育委員会教育部長
大谷健二様	愛知県教育委員会教育改革監
高橋信哉様	一宮市教育委員会教育長
森敬一様	一宮市教育委員会教育部長
高松透様	前愛知県公民館連合会会長

大会協力者

1 日目アトラクション	一宮市島文楽保存会の皆様
1 日目記念講演会講師	中 山 芳 一 氏 All HEROs 合同会社 代表
1 日目全体会司会者	(外部に依頼する予定)
2 日目分科会助言者	大 村 恵 氏 愛知教育大学 名誉教授
	井 口 啓太郎 氏 国立市教育委員会教育部公民館長
	福 和 伸 夫 氏 名古屋大学 名誉教授
	あいち・なごや強靱化共創センター長
	益 川 浩 一 氏 岐阜大学 副学長補佐・教授
	上 原 直 人 氏 名古屋工業大学大学院工学研究科 教授

実行委員会

実行委員長	松永	裕和										
部会長	加藤	洋子（総務部）	竹内	章浩（式典部）	夏目	守雄（分科会部）						
	西郷	好則（資料部）	山本	宗雄（庶務部）								
開催地代表	北島	亨一										
総務部	加藤	洋子	中島	邦彦	北島	亨一	別府	正弘	中野	高歳	佐々木	淑江
	石井	一成	坪内	利樹	松永	典子						
式典部	竹内	章浩	永井	伸明	山田	隆貴	中山	裕之	筒香	広昭	黒野	雅直
	中村	彰良	長谷川	裕城	狐塚	大介						
分科会部	夏目	守雄	山田	芳久	金原	厚夫	小嶋	悠資	小田	皓太	廣瀬	浩司
資料部	西郷	好則	岡本	長佳	小林	正人	河口	昌和	渡辺	寿彦	生田	智之
	中木	真一	中村	一哉	松井	鮎子						
庶務部	山本	宗雄	地福	真紀子	都筑	太	今田	宗孝	辻	麻希	石原	清史

東海北陸公民館連合会

各県の概要・あゆみ

- 1 各県公民館連合会の概要
- 2 東海北陸公民館大会のあゆみ
- 3 東海北陸公民館連合会表彰受賞者一覧
- 4 東海北陸地区の文部科学大臣表彰受賞公民館一覧
- 5 東海北陸公民館連合会 会則

1 東海北陸公民館連合会 各県公連の概要

福井県公民館連合会

所在地	〒918-8135 福井市下六条町 14-1 福井県生活学習館内	概要	
電話番号	(0776) 41-4077	1 発足年月日	昭和 25 年 5 月 1 日
FAX 番号	(0776) 41-4077	2 予算総額	6,649,000 円
メールアドレス	f-kouren@kore.mitene.or.jp	3 県内公民館数	196 館
		4 特色ある事業	
会長	中 村 准	① 福井県公民館セミナー	(前期・後期)
副会長	小 島 敏 弘 軽 部 利 宣	② 広報紙コンクール	
	松 野 信 一 服 部 成 男	③ 福井県公民館大会	
事務局長	出 蔵 加津代	福井県公民館連合会表彰	
事務局員	福 井 真 紀	広報紙コンクール入賞館表彰	
		④ 広報紙「こうれんふくい」の発行	

岐阜県公民館連合会

所在地	〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	概要	
電話番号	(058) 278-0133	1 発足年月日	昭和 37 年 4 月 2 日
FAX 番号	(058) 278-0136	2 予算総額	3,014,500 円
メールアドレス	gisakyao@estate.ocn.ne.jp	3 県内公民館数	247 館
		4 特色ある事業	
会長	若 宮 圭 輔	① 岐阜県社会教育推進大会	(社会教育委員との合同開催)
副会長	廣 瀬 正 人	② 岐阜県公民館優良職員表彰	
	八 木 正 義	③ 岐阜県公民館名簿	
事務局長	河 口 洋二郎	④ 機関紙「ぎふ公民館」発行	
事務局員	保 城 由 美		

石川県公民館連合会

所在地	〒921-8105 金沢市平和町 1-3-1 石川県平和町庁舎内	概要	
電話番号	(076) 245-6580	1 発足年月日	昭和 24 年 4 月 1 日
FAX 番号	(076) 245-6584	2 予算総額	6,568,000 円
メールアドレス	ishikouren@i-kouminkan.jp	3 県内公民館数	312 館 (含コミュニティセンター 50 館)
		4 特色ある事業	
会長	竹 上 勉	① 石川県公民館大会	
副会長	中 屋 幸 夫 本 田 順 円	② 令和 6 年能登半島地震関連事業	
	正 木 明	③ 石川県公民館連合会表彰	(館長表彰・職員表彰)
事務局長	森 田 勝	④ 石川県市町公民館長研修会	
事務局員	大 橋 香奈恵	⑤ 公民館職員講習(館長・主事)	[基礎・専門コース]
		⑥ 広報紙『公連いしかわ』年 2 回発行	

富山県公民館連合会

所在地 〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
富山県教育文化会館内
電話番号 (076) 444-5777
FAX 番号 (076) 444-5777
メールアドレス
tomico7@iaa.itkeeper.ne.jp

会 長 中 西 彰
副 会 長 中 村 茂 信 高 井 清 高
山口 豊 吉 田 外茂治
荒 井 外志明
事務局長 本 田 正 則
事務局員 木 本 聡 子

概要

- 1 発足年月日 昭和26年1月30日
- 2 予算総額 10,154,500円
- 3 県内公民館数 322館
- 4 特色ある事業

- ① 公民館活動研究委嘱事業(県内5館)
- ② 公民館大会の開催
- ③ 公民館初任者研修会、館長研修会、主事・指導員等研修会の開催
- ④ 優良自治公民館表彰、永年勤続職員表彰
- ⑤ 県委託「公民館 de つながるモデル事業」の実施
- ⑥ 先進事例を学ぶ研修会の開催
- ⑦ 研修内容(講演、発表等)をホームページからネット配信
- ⑧ 県公連会報を年2回発行

愛知県公民館連合会

所在地 〒460-8534 名古屋市中区三の丸
3-1-2 愛知県教育委員会
あいちの学び推進課内
電話番号 (052) 954-6780
FAX 番号 (052) 954-6962
メールアドレス
aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp

会 長 松 永 裕 和
副 会 長 加 藤 洋 子 竹 内 章 浩
夏 目 守 雄 西 郷 好 則
事務局長 山 本 宗 雄
事務局員 今 田 宗 孝

概要

- 1 発足年月日 昭和32年8月1日
- 2 予算総額 1,623,059円
- 3 県内公民館数 327館
- 4 特色ある事業

- ① 愛知県公民館連合会総会・講演会
- ② 公民館主事等社会教育担当者研修会
- ③ 愛知県公民館連合会表彰
(公民館・公民館職員・公民館関係者)
- ④ 支部別研修会の開催(4支部)
- ⑤ 研究公民館委嘱
(各支部1館に委嘱、支部別研修会で発表)
- ⑤ 広報紙「あいちの社会教育と公民館」
の発行(年1回)

2 東海北陸公民館大会のあゆみ〔略年表〕

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
昭和21年 (1946)		7. 5 文部次官通牒「公民館の設置運営について」 11. 3 日本国憲法公布
昭和22年 (1947)		3. 31 教育基本法第7条（社会教育）に「公民館」が明記される。 4. 17 地方自治法施行 5. 3 日本国憲法施行
昭和23年 (1948)		7. 15 教育委員会法施行 11. 3 文部大臣全国優良公民館表彰（第1回）
昭和24年 (1949)		1. 「成人の日行事」について文部次官通達 6. 10 社会教育法施行
昭和25年 (1950)		3. 第1回都市公民館大会（別府市） 4. 30 図書館法施行
昭和26年 (1951)		11. 30 全国公民館連絡協議会（全公連）結成 12. 1 博物館法施行
昭和27年 (1952)	4. 14～16 第3回全国都市公民館大会 (金沢市公会堂)	5. 29～30 第1回全国公民館大会（福島市） 11. 1 市町村に教育委員会が義務設置となる。
昭和28年 (1953)	5. 20～22 社会教育法施行5周年記念第3回全国公民館大会（富山市公会堂：1,607名）	8. 14 青年学級振興法施行 9. 1 町村合併促進法施行
昭和29年 (1954)		2. 16 社会教育審議会建議「社会教育施設の整備について」 5. 20 全国優良公民館職員表彰制度ができる。 (全公連)
昭和30年 (1955)		12. 全公連「公民館法」草案要綱をつくる。 「月刊公民館」創刊
昭和31年 (1956)		6. 30 地方教育行政の組織及び運営に関する法律
昭和32年 (1957)		12. 10 社会教育審議会答申「公民館の充実方策について」
昭和33年 (1958)		
昭和34年 (1959)	6. 17～19 第1回東海3県公民館大会（津市） 第1回北陸3県公民館大会（富山市） 第8回全国公民館大会 (小松市公会堂：2,300名)	12. 28 文部省告示「公民館の設置及び運営に関する基準」
昭和35年 (1960)	第2回東海3県公民館大会（高山市） 第2回北陸3県公民館大会（鶴来町（石川））	9. 14 全国の公民館マーク制定される。
昭和36年 (1961)	第3回東海3県公民館大会（一宮市） 第3回北陸3県公民館大会（敦賀市）	6. 16 スポーツ振興法施行
昭和37年 (1962)	12. 5～6 第4回東海3県公民館大会（津市） 第4回北陸3県公民館大会（富山市） 東海北陸6県の県公連会長・事務局長会議を開き、東海北陸公民館連絡協議会結成準備会を結成。（山中温泉（石川県））	2. 21～23 第1回公民館職員研究集会 (国立中央青年の家)
昭和38年 (1963)	10. 8～9 東海北陸公民館連絡協議会発会式・第1回東海北陸公民館大会を開催 (石川県婦人会館（金沢市）：324名） 東海北陸公民館優良職員表彰を各県より2名の推薦を得て実施（以後毎年表彰）	2. 文部省「進展する社会と公民館の運営」刊行
昭和39年 (1964)	8. 10～11 第2回東海北陸公民館大会 (岐阜県町村会館：345名)	3. 31 公民館振興国会議員懇談会が発足
昭和40年 (1965)	9. 21～22 第3回東海北陸公民館大会 (福井市公会堂：563名) 東海北陸公民館連合会と改称	2. 18 「全国公民館連合会」社団法人として認可 11. 16 公民館の歌、公民館音頭を発表
昭和41年 (1966)	8. 23～24 第4回東海北陸公民館大会 (名古屋市守山公会堂：555名)	6. 27 全公連「公民館のあるべき姿と今日的指標」 (中間報告)

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
昭和42年 (1967)	9. 8～ 9 第5回東海北陸公民館大会 (高岡市公民館：1,105名)	9. 1 全公連「公民館のあるべき姿と今日的指標」公表
昭和43年 (1968)	9. 20～21 第6回東海北陸公民館大会 (松阪市公会堂：491名)	6. 15 文化庁設置 全国で「明治百年」記念行事催される。
昭和44年 (1969)	9. 25～26 社会教育法施行20周年記念第7回東海北陸公民館大会 (石川県社会教育センター、北陸放送会館：722名)	12. 3 公民館振興市町村長連盟が発足
昭和45年 (1970)	8. 10～11 第8回東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館：669名)	5. 18 全公連第二次専門委員会「都市化に対応する公民館」「公民館をめぐる諸制度改善の具体策」を報告
昭和46年 (1971)	8. 27～28 第9回東海北陸公民館大会 (福井県民会館：785名) 10. 13～15 第20回記念全国公民館大会 (金沢市観光会館：1,767名)	4. 1 地方交付税に「公民館費」の節が設けられる。
昭和47年 (1972)	8. 29～30 第10回東海北陸公民館大会 (名古屋中小企業センター：600名)	4. 30 帝国地方行政学会「全国公民館名鑑」刊行
昭和48年 (1973)	7. 10～11 第11回東海北陸公民館大会 (富山県民会館：1,042名)	
昭和49年 (1974)	7. 22～23 社会教育法施行25周年記念第12回東海北陸公民館大会 (伊勢市観光会館：651名) 例年の優良職員表彰の他に各県1名の功労者を記念表彰	6. 10 この年はじめて文部大臣が優良公民館職員を表彰
昭和50年 (1975)	9. 11～12 第13回東海北陸公民館大会 (石川県社会教育センター：620名) 10. 16～17 第1回公民館振興市町村長連盟研修会 (鶴来町中央公民館(石川県)：町村長205名)	7. 31 社会教育審議会答申「市町村における社会教育指導者の充実強化の為の施策について」
昭和51年 (1976)	7. 29～30 社会教育法施行30周年記念第14回東海北陸公民館大会 (大垣市文化会館：645名) 功労者記念表彰	11. 25 皇太子・同妃両殿下をお迎えし、第25回全国公民館大会を国立教育会館で開催
昭和52年 (1977)	8. 25～26 第15回東海北陸公民館大会 (武生市中央公民館：655名) 功労者を記念表彰	10. 12～13第26回全国公民館大会開催(新潟県民会館) 以後、政府予算編成期に東京で開催
昭和53年 (1978)	8. 23～24 第16回東海北陸公民館大会 (名古屋市中企業センター：680名)	10. 23～24第1回全国公民館研究集会開催(高松市ほか) 12. 21 第25回全国公民館振興大会開催(赤坂プリンスホテル(東京)) 以後、毎年同会場で開催
昭和54年 (1979)	8. 27～28 社会教育法施行30周年記念第17回東海北陸公民館大会 (富山県民会館：918名) 11. 13～14 第2回全国公民館研究集会 (岐阜市民会館：1,859名) 功労者記念表彰	4. 1 公民館建設費の国庫補助金が127億6千万円と最高額に達する。 5. 1 公民館総合補償制度を採用
昭和55年 (1980)	8. 26～27 第18回東海北陸公民館大会 (伊勢市観光文化会館：816名)	4. 1 公民館の歌・公民館音頭(A面)、公民館式典用音楽(B面)のレコードできる。
昭和56年 (1981)	9. 10～11 第19回東海北陸公民館大会 (石川県婦人生活会館：786名)	6. 11 中央教育審議会答申「生涯教育について」
昭和57年 (1982)	8. 31～9. 1 第20回記念東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館：883名) 功労者記念表彰	2. 10 「公民館のあるべき姿と今日的指標・総集版」を全公連から出版
昭和58年 (1983)	8. 30～31 第21回東海北陸公民館大会 (敦賀市文化センター：924名)	5. 23 全公連専門委員会への諮問「生涯学習時代に即応した公民館のあり方」中間報告
昭和59年 (1984)	8. 30～31 第22回東海北陸公民館大会 (蒲郡市民会館：852名) 11. 18～19 第7回全国公民館研究集会 (武生市文化センター：1,410名)	6. 2 全公連専門委員会「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」答申 8. 21 臨時教育審議会発足
昭和60年 (1985)	8. 29～30 第23回東海北陸公民館大会 (富山県民会館：1,056名)	10. 1 公民館職員対象「新総合医療保険・養老保険」制度採用

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
昭和61年 (1986)	8. 28～29 第24回東海北陸公民館大会 (伊勢市観光会館：1,080名)	11 第1回国民文化祭開催(東京都)
昭和62年 (1987)	8. 27～28 第25回記念東海北陸公民館大会 (金沢市観光文化会館：1,352名) 功労者記念表彰	7. 1 全公連35年史刊行 8. 7 臨時教育審議会最終答申
昭和63年 (1988)	9. 1～ 2 第26回東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館：1,178名)	7. 1 文部省機構改革により社会教育局を廃し、 「生涯学習局」発足
平成元年 (1989)	9. 1～ 2 第27回東海北陸公民館大会 (富山県民会館：1,215名) 10. 24～25 第14回全国公民館研究集会 (蒲郡市民会館：1,215名)	7. 5 第14期中央教育審議会生涯学習専門委員会発足 11. 26～27第1回生涯学習フェスティバル (千葉：幕張メッセ)
平成2年 (1990)	8. 30～31 第28回東海北陸公民館大会 (愛知文化講堂：1,388名)	6. 30 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律(生涯学習振興法)
平成3年 (1991)	9. 25～26 第29回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ：1,728名)	6. 11 生涯学習審議会「公民館の整備・運営の在り方について」(中間報告)
平成4年 (1992)	9. 3～ 4 第30回記念東海北陸公民館大会 (三重県阿児町アリーナ：1,329名) 功労者記念表彰	7. 29 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
平成5年 (1993)	9. 2～ 3 第31回東海北陸公民館大会 (七尾市サンライフプラザ：1,573名)	2. 25 生涯学習審議会社会教育分科審議会報告「社会教育関係職員の資格制度の見直し等」
平成6年 (1994)	9. 29～30 第32回東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館：1,486名)	
平成7年 (1995)	11. 28～29 第33回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ：1,864名)	
平成8年 (1996)	8. 29～30 第34回東海北陸公民館大会 (愛知芸術文化センター：1,570名)	4. 24 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」
平成9年 (1997)	10. 23～24 第35回記念東海北陸公民館大会を第20回全国公民館研究集会と併催 (富山市芸術文化ホール：2,128名) 功労者記念表彰	3. 31 地方分権の推進のため公民館の施設整備費補助制度廃止される。
平成10年 (1998)	8. 27～28 第36回東海北陸公民館大会 (三重県総合文化センター：1,414名)	8 特定非営利活動促進法(NPO法) 9 生涯学習審議会答申「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」
平成11年 (1999)	8. 26～27 社会教育法施行50周年記念第37回東海北陸公民館大会 (小松市公会堂(石川県)：1,429名)	6. 9 生涯学習審議会答申「生活体験・自然体験が日本の子どもの心を育む」 7. 16 「地方分権の推進を図るための関係法律整備等に関する法律」公布(社会教育法等一部改正：平成12年4.1施行) 7. 30 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)
平成12年 (2000)	8. 24～25 第38回東海北陸公民館大会 (大垣市民会館・大垣市スイトピアセンター：1,502名)	4. 14 家庭教育学習の拠点としての公民館の充実について
平成13年 (2001)	8. 23～24 第39回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ・福井市勤労婦人センター・福井県職員会館：1,860名)	1. 6 IT基本法 1. 25 文部科学省「21世紀教育新生プラン」 11. 16 全国公民館連合会創立50周年記念大会
平成14年 (2002)	8. 29～30 第40回東海北陸公民館大会 (稲沢市民会館・稲沢市勤労福祉会館・稲沢市総合文化センター：1,631名)	7. 29 中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」
平成15年 (2003)	10. 16～17 第41回東海北陸公民館大会 第26回全国公民館研究集会 (三重県総合文化センター・アスト津・教育文化会館：2,088名)	3. 20 中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」 6. 6 「公民館の設置及び運営に関する基準」告示
平成16年 (2004)	8. 26～27 第42回東海北陸公民館大会 (富山県民会館・富山国際会議場他：1,649名)	3. 29 中央教育審議会生涯学習分科会審議経過報告「今後の生涯学習の振興方策について」

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
平成17年 (2005)	9. 1～ 2 第43回東海北陸公民館大会 (石川県立生涯学習センター・金沢市観 光会館・金沢21世紀美術館他 : 1,395名)	7. 1 文部科学省通知「社会教育施設等を活用した 裁判員制度に係る教育・啓発活動の推進につ いて」 9. 27 文部科学省通知「地域における防犯教育・防犯 活動及び防犯ボランティア活動の推進について」 10. 24 文部科学省通知「地域における防災に係る教育 ・啓発活動の推進について」
平成18年 (2006)	8. 24～25 第44回東海北陸公民館大会 (ライフポートとよはし・豊橋市役所 ・豊橋市民センター・豊橋市商工会議 所他 : 1,336名)	12. 22 教育基本法改正
平成19年 (2007)	8. 23～24 第45回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ・福井県国 際交流会館・福井市中央公民館他 : 1,508名)	4. 1 放課後子どもプラン開始
平成20年 (2008)	9. 25～26 第46回東海北陸公民館大会 (長良川国際会議場・未来会館・岐阜県 民文化ホール他 : 1,223名)	2. 19 中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓 く生涯学習の振興方策について」 6. 11 社会教育法の一部を改正する法律公布・施行 学校支援地域本部事業(文部科学省)
平成21年 (2009)	※ 東海北陸公民館大会は休会	10. 15～16社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会 開催(東京)
平成22年 (2010)	10. 14～15 第47回東海北陸公民館大会 第32回全国公民館研究集会 (石川県立音楽堂・金沢市文化ホール・ 石川生涯学習センター他 : 1,270名)	4. 文部科学省実証研究委託「社会教育による地域 の社会教育強化プロジェクト」 6. 閣議「新しい公共」宣言
平成23年 (2011)	10. 13～14 第48回東海北陸公民館大会 (桑名市民会館・メディアライヴ・ 桑名市中央公民館他 : 987名)	3. ～ 3. 11東日本大震災で被災地公民館、社会教育団 体等が避難・復旧復興活動に大きな役割を果た す。 8. 20 公民館における災害対策特別研修会(東京)
平成24年 (2012)	9. 6～ 7 第49回東海北陸公民館大会 (富山県民会館・富山国際会議場・北日 本新聞ホール・高志会館他 : 1,536名)	4. 1 全国公民館連合会、公益社団法人化
平成25年 (2013)	10. 9～10 第50回東海北陸公民館大会 (半田市福祉文化会館・半田市民交流プラ ザ : 1,210名)	4. 文部科学省新規事業「公民館等を中心とした社 会教育活性化支援プログラム」
平成26年 (2014)	10. 9～10 第51回東海北陸公民館大会 (福井県フェニックスプラザ・福井県国際 交流会館・福井市地域交流プラザ他 : 1,419名)	3. 優良公民館表彰が最優秀館、優秀館を選定する方式 に変更 第1回優秀館に福井市社北公民館が選ばれる。
平成27年 (2015)	9. 10～11 第52回東海北陸公民館大会 (富山県民会館・富山市民プラザアンサン ブルホール・北日本新聞ホール・いきい きKAN多目的ホール他 : 1,474名)	4. 「学びによる地域力活性化プログラム普及・啓発 事業」開始
平成28年 (2016)	10. 20～21 第38回全国公民館研究集会 第53回東海北陸公民館大会岐阜大会 (高山市 飛騨・生活文化センター : 1,068名)	全国7ブロック公民館大会が全国公民館研究集会 の冠を付しての開催となる。(7年に一度は首都 圏開催)
平成29年 (2017)	3. 31 三重県公民館連絡協議会 解散 10. 19～20 第39回全国公民館研究集会 第54回東海北陸公民館大会石川大会 (金沢歌劇座・石川県文教会館他 : 1,241 名)	4. 文部科学省社会教育課の「公民館振興係」が「連 携推進係」に変更
平成30年 (2018)	※ 東海北陸公民館大会は休止	10. 16 文部科学省組織再編で「総合教育政策局」を設置。 あわせて「社会教育推進総括官」「地域学習推進 課」「地域学習推進係」「地域振興係」が設置さ れる。 11. 1～ 2 第40回全国公民館研究集会東京大会 (会場 : 日本青年館)
令和元年 (2019)	10. 17～18 第41回全国公民館研究集会 第55回東海北陸公民館大会愛知大会 (刈谷市総合文化センター・ 刈谷市産業振興センター)	4. 1 新・放課後子どもプラン開始

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
令和2年 (2020)	※ 新型コロナウイルス感染拡大により大会延期	4. 16 新型コロナウイルスにより、全国に初の緊急事態宣言（～5. 25） 公民館でも「新しい生活様式」を踏まえた利用が求められる。 5. 14 「公民館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を公表（改訂履歴：R2. 5. 25、R2. 10. 2、R3. 10. 19、R4. 6. 9）
令和3年 (2021)	11. 11～12 第43回全国公民館研究集会 第56回東海北陸公民館大会福井大会 （福井市フェニックスプラザ・ハビリン 福井県教育センター・福井県国際交流会館）	2. 17 新型コロナウイルスワクチン接種開始
令和4年 (2022)	9. 8～9 第44回全国公民館研究集会 第57回東海北陸公民館大会富山大会 （富山県民会館・パレブラン高志会館・サンシップとやま・北日本新聞社ホール）	7. 12 「全国代表事務局長会議」の実施
令和5年 (2023)	10. 20 第45回全国公民館研究集会 第58回東海北陸公民館大会岐阜大会 （大垣市・ソフトピアジャパン）	5. 8 新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行これに伴い「公民館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を廃止。 7. 5 全国代表事務局長会議
令和6年 (2024)	1. 1 令和6年能登半島地震 第46回全国公民館研究集会 第59回東海北陸公民館大会石川大会は地震の影響を考慮し中止。	7. 3 全国代表事務局長会議
令和7年 (2025)	※ 東海北陸公民館大会は休止	7. 全国代表事務局長会議 11. 12～13 第47回全国公民館研究集会東京大会 （会場：東京国際フォーラム）
令和8年 (2026)	11. 26～27 第48回全国公民館研究集会 第60回東海北陸公民館大会愛知大会 （一宮市民会館・i-ビル（尾張一宮駅前ビル・尾西信金ホール・一宮市木曽川公民館）	6. 10 全国公民館連合会第15回定時総会にて、会員に関する規程が改正され、正会員会費が一律9万円となる。 7. 全国代表事務局長会議

3 東海北陸公民館連合会表彰受賞者一覧

回	石川県				岐阜県				福井県				愛知県				富山県				三重県			
第1回 昭和38年 (金沢市)	輪水	泉上	信浩	竜二	—				加今	藤野	新之助	助雄	伊竹	藤内	俊京	行司	松土	山肥	富和	雄平	寺和	本泉	秀	俊弘
第2回 昭和39年 (岐阜市)	大中	藪田	清正	隆雄	田中	中保	広雄	川高	田野	新	彰助	伊与田	雄兼	太郎	大上	田栄	正一	内森	藤寿	和雄	雄雄			
第3回 昭和40年 (福井市)	森木	岡越	弥佐久	太美夫	栗山	勅使河原	憲昭一	吉末	村政	久松	枝伊	大内	洞山	健造	功茂	茂長	沢清	済勝	村山	田口	か守	よ之		
第4回 昭和41年 (名古屋市)	堀山	下栄	盛作	栄作	服岡	部本	俊三	岩中	堀島	健孝	彦儀	山柿	田谷	鎌二	郎茂	四十物	常外	二二	須尾	藤崎	勝正	見明		
第5回 昭和42年 (高岡市)	船近	田岡	一和	雄男	河樹	瀬神	守男	加辻	藤子	哲富	二蔵	広鈴	浜木	武類	雄治	鶴今	居井	孫之函	水山	野口	達輝	雄雄		
第6回 昭和43年 (松阪市)	後東	藤平	為正	次太	萩佐	永藤	仙三	助三	前山	沢忠	左衛門	慧	平酒	松井	稔勝	石寺	田林	吉古	雄平	水市	川川	博善	蔵蔵	
第7回 昭和44年 (金沢市)	喜山	田本	美盛	由喜賢	大村	岩井	祐奥	直助	藤川	永保	幸輝	実輝	伊岡	藤安	留磯	吉雄	高木	橋村	源辰	重雄	林本	覚英	房裕	
第8回 昭和45年 (岐阜市)	池源	田幸	恒夫	雄夫	富篠	田田	豊清	次吉	田岩	中泉	芳喜	助一	石元	原下	泰光	郎幸	南浜	保手	金弘	作一	小中	川尾	進八百	治治
第9回 昭和46年 (福井市)	福片	田山	秀雅	三尚	亀肥	山田	喜正	一雄	伊小	藤川	治豊	志太郎	稲山	垣本	福道	次郎	九能	里松	道義	守次	中林	村謙	司男	
第10回 昭和47年 (名古屋市)	山江	岸尻	善勞	二郎	間渡	宮辺	三昇	吉	酒岩	井崎	定徳	次夫	永宮	井本	栄秀	重吉	高佐	田野	長豊	一郎	蔵蔵	稲長	垣白	洋子
第11回 昭和48年 (富山市)	元川	谷端	信一	也治	川椿	出井	隆繁	信	永松	田村	金左	衛門	浅加	井藤	啓	吉泉	島高	津箱	武宗	男一	辻中	井隆	次幹	
第12回 昭和49年 (伊勢市)	川桶	中功	大耕	二幸	日林	比功	屋秀	の秀	池沢	田崎	一孝	吉博	柳吉	原井	幸健	平助	高山	石田	宗一	義磨	幹中	川若	治満	男智
第13回 昭和50年 (金沢市)	清竹	水本	文義	男三	岡坪	崎井	義市	也次郎	芦石	原丸	恵正	明郎	藤中	井根	昌敏	治治	松円	平治	源外	治吉	奥中	山嶋	学文	一郎
第14回 昭和51年 (大垣市)	池辻	下功	照清	久栄	根野	岸功	秀敏	典雄	前向	田島	三正	衛門	鶴田	飼村	繁俊	雄夫	辻渡	辺功	源栄	寛治	斉西	藤尾	賢利	雄門
第15回 昭和52年 (武生市)	西清	山伎	久博	雄博	藤伏	村屋	十文	萬枝	高竹	島内	善徳	兼二	伊岩	吹瀬	安澄	太郎	長井	長嶋	左哲	工大	門大	田川	畑村	佳豊
第16回 昭和53年 (名古屋市)	釜柏	田野	弘美	恵子	長中	屋島	郁春	郎生	木佐	村竹	朝清	次兵衛	市野	川村	寂清	正助	宮稲	野垣	正秀	夫敏	松杉	尾尾	梅武	治臣

回	石川県				岐阜県				福井県				愛知県				富山県				三重県			
第17回 昭和54年 (富山市)	堀根功竹	内石六	一時之丞	世子	渡大浅	辺脇功井	重春	雄雄敏	高田功藤	橋村永	太	藏遼実	佐鈴花	藤木木	英孝	雄一雄	島水河	上島合	正近外	三太郎二	北早功南	主勝良	計彦文	
第18回 昭和55年 (伊勢市)	泉西	口本	智久	子平	香広	川江	義禎	昌策	羽納	生村	文一	雄雄	武羽	木田	健彦弘		岩片	城岡	秀作	二蔵	武小	田川	善広	悟巳
第19回 昭和56年 (金沢市)	和中	田桐	正一	明男	古一	家色	恒謙	男正	久津五	見嵐左	守右工	雄門	峯山	神本	健松次郎		折斉	谷藤	隆義	一夫	土北	井村	久楠	雄平
第20回 昭和57年 (岐阜市)	村街功太	山道田	孝平	覚志二	川日葛	瀬比者西	実	益二博	林門功川	脇功久保		慧隆輝	石小早功宮	川早川田	圭誠一	式一松	杉扇功鎌	林一者谷	信堂又	義雄平	北辻功小	川川者松	一保大	雄助演
第21回 昭和58年 (敦賀市)	桜西	井出	瑞俊	彦彦	小宮	寺地	祥	弘敬	中柴	村田	健之輔	輔円	熊加	谷藤	庄新	次吾	橋竹	本原	日道	尚則	加中	藤西	八郎	郎豊
第22回 昭和59年 (蒲郡市)	東中	方尾	新一	歩郎	市樋	岡口	清栄	一喜	松中	田山	正泰	道夫	稲吉	垣見	昌	功則	斉内	藤島	成弘	正之	永長	野脇	甲子世	生知
第23回 昭和60年 (高山市)	若中	狭江	松寿	治男	安福	田井	次藤	郎三	錦織佐々	三郎木	立工門基		伊松	藤浦	富省	三三	斉下	藤田	清淑	作光	草西	川脇	清英	人一
第24回 昭和61年 (伊勢市)	亀寺	田本	良敏	一子	林鈴	人	謙	吉充	神田	戸村	秋栄	穂子	鈴市	木川	英	寿夫	蟹麻	谷柄	宗	信学	住宮	沢田	博和	文裕
第25回 昭和62年 (金沢市)	神能盛	原波田	桂義弘	衛子	高江二	村尾者侯	覚秋	成憲潔	大黒功千	道田者葉	和弘治	嗣子雄	久佐功橋	野橋者本	時延晴	男務夫	京中功川	免村者瀬	豊寿	年美茂	鵜是功山	飼次者口	新文守	平夫之
第26回 昭和63年 (岐阜市)	浜塩	浜	正章	雄良	本高	田木	輝正	明司	平堀	林	長末	十郎野	辻大	沢	一和	郎夫	柴野	田村	吉利	郎正	安岩	永崎	幸孝	二郎太郎
第27回 平成元年 (富山市)	三東	谷平	正	二大	野野	村田	龍正	温治	増佐々	田木	利清	博美	山中	本野	信慶	一一	館吉	盛井	貞直	信敏	山南	下野	健尊	次俊
第28回 平成2年 (名古屋市)	中井	山田	茂順	夫太郎	国竹	島中	五敏	作子	奥前	原川	正孔	子子	加市	藤井	恒滋	夫男	大保	窪田	直道	治雄	青房	木川	重忠	一郎
第29回 平成3年 (福井市)	寺小	井寺	勇昭	吉久	栗林	野	克	博司	辻前	端田	芳孝	枝一	福国	岡村	恵	正子	清塚	水本	亀喜	作作	城橋	内居	光徳	夫治
第30回 平成4年 (阿児市)	岡喜功酒	田多者井	常幸正	二政夫	森安功福	田者島	忠穂大	敬作典	六水功伊	戸部者藤	知喜	士之守	岩中功八	田島者田	銃	一一武	松井功中	向村者谷	定敏政	夫子治	前石功森	田田者吉	敏茂	治明男
第31回 平成5年 (七尾市)	上稲	村田	一ソ	郎子	小高	川井	文	豊雄	藤久	田保	市豊	郎子	加内	藤田	初綿	江作	前坂	出井	正俊	男夫	福田	井山	嘉壽	実彦
第32回 平成6年 (岐阜市)	北定	川免	皓修	三一	河竹	合中	二嘉	喜彦	岡矢	嶋尾	雪た	雄え	間大	瀬屋	順	勲彦	山佐	本藤	正政	光雄	長横	末山	吉瑤	夫江子
第33回 平成7年 (福井市)	谷川	内岸	清昭	三円	和永	田田	堅	弘雄	中小	村林	幸逸	栄子	河寺	合部	美市	智三	嶋柴	崎田	直吉	秀衛	分鈴	部木	一	勝男

回	石 川 県				岐 阜 県				福 井 県				愛 知 県				富 山 県				三 重 県			
第34回 平成8年 (名古屋市)	武 田 長 平 武 谷 泰 子				渡 辺 文 雄 杉 岡 幸				福 島 房 美 竹 田 法 英				鈴 木 美智子 安 井 宮 一				竹 喜 山 信 男 喜 内 忍 郎				望 月 米 子 橋 本 達 夫			
第35回 平成9年 (富山市)	古 束 今 哲 也 束 功 功 者 淳 一 神 田 淳 一				安 伸 田 範 和 功 功 功 者 合 勝				松 吉 本 昭 雄 功 功 功 者 左 門 山 田 次 郎 工 門				南 谷 隆 昌 鈴 木 敏 敏 成 功 功 功 者 孝 雄 高 橋 孝 雄				加 池 藤 敏 夫 功 功 功 者 藤 政 雄 佐 藤 政 雄				一 森 叱 坂 橋 太 功 功 功 者 享 郎 高 橋 薫			
第36回 平成10年 (津市)	宮 下 貫 一 松 下 良				宮 川 正 俊 肥 田 昭 男				中 中 村 義 一 中 嶋 貴 美 江				祖 父 江 登 片 山 浩 治				扇 谷 逸 郎 山 本 直 子				奥 市 之 木 山 信 廣			
第37回 平成11年 (小松市)	大 家 田 都 督 家 田 穰 一				日 比 せ い 鷗 飼 金 一				三 反 崎 三 樹 三 郎 宮 本 明 美				後 藤 一 弘 安 形 伊 佐 男				山 藤 忠 雄 新 明 公 子				下 川 幸 一 森 川 季 義			
第38回 平成12年 (大垣市)	谷 内 江 昇 竹 垣 賢 雄				小 篠 林 七 三 篠 田 豊				北 川 はる子 経 塚 久 雄				上 田 博 明 中 山 久 一郎				広 田 弘 義 福 田 一 男				菌 部 望 佐 野 久 夫			
第39回 平成13年 (福井市)	南 田 恵 美子 原 田 洋 子				西 脇 文 夫 大 島 浪 恵				山 下 よし枝 栗 山 祐 子				竹 内 和 也 神 谷 幹 代				桝 田 寛 昭 沖 保 治				寺 本 喜 晴 高 田 峰 昭			
第40回 平成14年 (稲沢市)	小 寺 昭 久 春 木 義 勝 松 原 ソ ユ 子				川 合 孝 一 井 戸 一 貢 昭				佐 藤 藤 枝 伊 与 智 江 子 岩 木 弥 恵 子				吉 田 直 子 鈴 木 武 一 一 古 川 晋 一				奥 平 正 黒 部 恒 一 利 近 藤 國				野 田 俊 彦 杉 谷 本 一 勝 美			
第41回 平成15年 (津市)	杉 森 繁 松 本 清 隆				渡 辺 曩 林 直 光				小 川 義 典 道 正 志 津 子				毛 利 政 信 大 坪 節 雄				辻 井 浅 信 西 本 久 美 子				屋 敷 孝 行 上 垣 勇			
第42回 平成16年 (富山市)	東 木 武 彦 腰 広 子				水 谷 圭 三 森 谷 務				大 久 保 佐 智子 菱 川 恵 子				榊 原 正 稻 垣 一 夫				村 上 ふ さ 子 山 口 希 代 子				生 駒 忠 司			
第43回 平成17年 (金沢市)	池 村 清 孝 市 川 義 夫				船 戸 鉄 夫 佐 古 昭 二				増 田 文 子 高 帛 法 彰				伊 藤 立 静 夏 目 夫				大 納 久 登 松 本 介				前 田 徳 吉			
第44回 平成18年 (豊橋市)	元 村 善 輝 勝 木 輝 男				不 破 利 兼 内 堀 實				山 田 博 子 窪 田 広 美				石 田 康 弘 篠 原 眞 弓				倉 田 義 夫 西 岡 良 則				内 田 達 孝 杉 本 達 也			
第45回 平成19年 (福井市)	出 島 啓 雄 中 出 義 男				加 藤 隆 一 三 田 村 智				野 路 恵 子 吉 本 祐 子				森 浩 通 鈴 木 治				竹 中 幸 作 内 橋 政 雄				野 呂 秀 子 東 田 健 二			
第46回 平成20年 (岐阜市)	西 田 愛 子 魚 野 孝 次 郎				土 井 文 子 河 村 千 恵 子				吉 田 晴 美 山 口 郁 恵				山 田 房 江				穴 田 玲 子 稻 谷 久 雄				木 村 宜 裕 澤 田 美 裕 子			
平成21年	越 田 富 滋雄 安 田 信 夫				増 田 勝 治 竹 腰 哲 夫				川 端 由 美子 福 岡 和 恵				吉 川 優 安 井 広 一				山 口 吉 弘 丸 山 稔				増 田 晋 作 山 門 和 美			
第47回 平成22年 (金沢市)	駒 井 信 一 三 引 善 晴				杉 山 周 三 鷗 飼 さ ち 子				重 野 けいこ 井 上 美 八 子				村 橋 善 治 岩 崎 勝 治				吉 野 一 夫 藤 沢 律 子				東 海 やすこ 伊 藤 藤 勝			
第48回 平成23年 (桑名市)	金 田 一 洋 赤 石 喜				小 野 浩 一 堀 文 男				坂 上 泰 学 岡 田 美 由 紀				山 田 重 夫 森 川 昌 樹				岡 本 孝 平 田 村 美 津 子				佐 野 智 子 上 垣 内 守 雄			
第49回 平成24年 (富山市)	出 口 久 一 田 多 野 彦				大 岡 明 臣 稻 葉 勇				荻 野 清 子 森 陽 子				飯 盛 静 男 佐 藤 祐 子				山 下 幸 典 平 内 幸 典				神 園 敏 昭 中 川 文 博			
第50回 平成25年 (半田市)	楠 孝 司 堂 新 橋 孝 司				廣 瀬 桂 浦 田 伸 司				福 嶋 幸 代 仲 保 則 子				青 木 康 廣 鈴 木 由 美 子				嘉 藤 隆 幸 久 世 よ し 子				川 北 智 子 米 田 晴 生			

回	石 川 県	岐 阜 県	福 井 県	愛 知 県	富 山 県	三 重 県
第51回 平成26年 (福井市)	余 助 幸 一 畑 下 勲	奈 良 洋 美 北 嶋 眞 弓	宮 永 圭 子 中 村 喜 美 恵	都 築 のり子 高 野 悦 子	萩 野 康 子 高 井 清 高	高 橋 庄 子 児 玉 泰 清
第52回 平成27年 (富山市)	山 本 進 新 谷 美 栄 子	芳 田 眞 理 森 本 節 子	杉 本 典 子 直 江 利 恵 子	茂 田 昇	山 本 武 夫 長 田 弘 子	草 川 あやこ 古 市 仁
第53回 平成28年 (高山市)	山 岸 ひろみ 田 保 勝 男	大 野 裕 美 古 池 孝 文	水 元 賢 治 浅 井 真 由 美	山 田 茂 義 石 原 由 美 子	清 原 茂 夫 澤 村 真 由 美	松 隅 昭 寿 長 尾 信 一 郎
第54回 平成29年 (金沢市)	村 守 俊 樹 佐々木 恵 子	田 中 桂 造 梅 村 春 生	中 村 美 沙 子 富 坂 妙 子	加 藤 君 枝	島 崎 昌 美 太 田 京 子	—
平成30年	※全国公民館研究集会が首都圏開催だったため、表彰は行われず。					
第55回 令和元年 (刈谷市)	細 川 聰 南 寿 美 代	葛 谷 とみ子 伊 藤 好 一	塚 谷 直 人 伊 與 ま ゆ み	橋 本 利 和	川 田 真 弓 上 田 一 夫	—
第56回 令和2年 (福井市)	高 山 章 久 野 衛	大 橋 和 義 小 酒 井 敬 乃	杉 田 美 津 代 森 瀬 美 智 子	—	永 田 晉 治 北 村 外 志 子	—
第56回 令和3年 (福井市)	高 辻 聰 竹 本 由 紀 子	山 田 郁 恵 野 村 利 道	重 森 俊 道 荒 木 幹 夫	野 田 満 男	岡 田 千 春 水 井 勤	—
第57回 令和4年 (富山市)	笠 間 悟 定 免 敏 彦	馬 場 美 佐 緒 森 美 里	北 島 喜 一 八 田 真 澄	奥 谷 し ま	馬 場 均 曾 根 直 子	—
第58回 令和5年 (大垣市)	中 山 謙 司 宮 本 剛	青 木 信 嘉 今 井 悦 子	上 木 奈 美 子 左 近 と も み	岸 本 等 志 田 中 益 生	大 沼 宗 義 吉 田 重 成	—
第59回 令和6年	古 今 幹 人 大 宮 宏 志	後 藤 幸 子 藤 木 健 司	八 木 千 才 石 田 博 章	平 野 良 則	谷 口 政 芳 野 原 英 子	—
令和7年	※全国公民館研究集会が首都圏開催だったため、表彰は行われず。					
第58回 令和8年 (一宮市)	奥 野 美 彌 子 飯 田 伸 一	柳 間 信 子 鈴 木 雅 子	高 居 ち さ 美 堀 江 俊 子	長谷川 武 加 藤 和 守	平 島 信 明 土 田 恵 子	—

4 東海北陸地区の文部科学大臣表彰受賞公民館一覧

〔令和8年3月現在〕

第1回（昭和23年度）

富山県 東砺波郡福野町高瀬公民館
石川県 輪島市大屋公民館
福井県 勝山市勝山公民館

第2回（昭和24年度）

石川県 金沢市中央公民館
福井県 敦賀市中央公民館
岐阜県 益田郡金山町管田公民館
愛知県 碧海郡桜井町公民館
三重県 鈴鹿市庄野公民館

第3回（昭和25年度）

石川県 石川郡松任町石川公民館
福井県 三方郡公民館南部分館

第4回（昭和26年度）

富山県 東砺波郡城端町蓑谷地区公民館
石川県 小松市中央公民館
愛知県 犬山市立楽田公民館
三重県 一志郡一志町波瀬公民館

第5回（昭和27年度）

富山県 小矢部市中央公民館
石川県 石川郡鶴来町公民館
岐阜県 中津川市落合公民館
愛知県 丹羽郡大口町中央公民館
三重県 度会郡御薮村公民館

第6回（昭和28年度）

富山県 東砺波郡城端町公民館
石川県 金沢市瓢箪町公民館
岐阜県 不破郡垂井町公民館
愛知県 額田郡幸田町中央公民館
三重県 尾鷲市中央公民館

第7回（昭和29年度）

富山県 下新川郡入善町中央公民館
石川県 石川郡野々市町富奥公民館
三重県 阿山郡大山田村阿波公民館

第8回（昭和30年度）

富山県 上新川郡大沢野町公民館
石川県 加賀市大聖寺公民館
岐阜県 中津川市中津公民館
三重県 一志郡美杉村公民館

第9回（昭和31年度）

富山県 黒部市中央公民館
石川県 河北郡津幡町中央公民館
福井県 大野市大野公民館
岐阜県 加茂郡八百津町和知公民館
愛知県 瀬戸市中央公民館

第10回（昭和32年度）

石川県 石川郡松任町御手洗公民館
三重県 三重郡川越町公民館

第11回（昭和33年度）

石川県 石川郡鳥越村公民館

第12回（昭和34年度）

石川県 能美郡寺井町公民館

第13回（昭和35年度）

なし

第14回（昭和36年度）

石川県 石川郡松任町山島公民館
三重県 上野市公民館

第15回（昭和37年度）

愛知県 名古屋市立守山公民館

第16回（昭和38年度）

なし

第17回（昭和39年度）

なし

第18回（昭和40年度）

なし

第19回（昭和41年度）

岐阜県 中津川市落合公民館
愛知県 知多郡大府町公民館

第20回（昭和42年度）

愛知県 蒲郡市立府相公民館
三重県 尾鷲市中央公民館

第21回（昭和43年度）

石川県 鹿島郡鳥屋町公民館

第22回（昭和44年度）

石川県 金沢市芳斉公民館
三重県 津市中央公民館

第23回（昭和45年度）

福井県 勝山市遅羽公民館

第24回（昭和46年度）

石川県 鹿島郡中島町公民館
福井県 大野市富田公民館
岐阜県 恵那郡山岡町公民館

第25回（昭和47年度）

石川県 鹿島郡鹿西町公民館
岐阜県 不破郡垂井町公民館

第26回（昭和48年度）

石川県 河北郡七塚町公民館
福井県 丹生郡朝日町中央公民館
愛知県 東海市上野公民館
三重県 名張市公民館

第27回（昭和49年度）

石川県 能美郡根上町公民館
福井県 武生市中央公民館
岐阜県 高山市公民館
愛知県 西加茂郡三好町中央公民館

第28回（昭和50年度）

石川県 石川郡鶴来中央公民館
福井県 坂井郡三国町中央公民館

第29回（昭和51年度）

石川県 河北郡宇ノ気町中央公民館
福井県 鯖江市鯖江公民館
岐阜県 羽島郡笠松町公民館

第30回（昭和52年度）

石川県 羽咋郡富来町中央公民館
福井県 福井市順化公民館

第31回（昭和53年度）

石川県 石川郡野々市町中央公民館
岐阜県 羽島郡川島町公民館

第32回（昭和54年度）

石川県 河北郡内灘町内灘中央公民館
愛知県 知多市立八幡公民館
三重県 桑名郡長島町公民館

第33回（昭和55年度）

石川県 羽咋市立羽咋公民館
福井県 坂井郡三国町雄島公民館
岐阜県 山県郡高富町中央公民館

第34回（昭和56年度）

石川県 羽咋郡志賀町中央公民館
岐阜県 養老郡養老町中央公民館

第35回（昭和57年度）

石川県 穴水町立穴水公民館
岐阜県 揖斐川町中央公民館
愛知県 春日井市立知多公民館

第36回（昭和58年度）

富山県 高岡市立中央公民館
石川県 松任市中央公民館
岐阜県 岐南町中央公民館
愛知県 東海市立文化センター

第37回（昭和59年度）

石川県 金沢市城南公民館
福井県 春江町公民館
岐阜県 柳津町中央公民館

第38回（昭和60年度）

石川県 七尾市徳田公民館
福井県 敦賀市中央公民館
岐阜県 神戸町中央公民館
愛知県 飛島村中央公民館

第39回（昭和61年度）

富山県 高岡市立西部公民館
石川県 珠洲市立中央公民館
福井県 三国町新保公民館
岐阜県 池田町中央公民館
愛知県 岩倉市公民館

第40回（昭和62年度）

石川県 押水町中央公民館
福井県 福井市社南公民館
岐阜県 中津川市中津川公民館
愛知県 安城市中央公民館
三重県 桶町中央公民館

第41回（昭和63年度）

石川県 美川町中央公民館
福井県 金津町中央公民館
岐阜県 伊自良村中央公民館
愛知県 常滑市立南陵公民館
三重県 阿山町公民館

第42回（平成元年度）

富山県 富山市立豊田公民館
福井県 松岡町松岡中央公民館
岐阜県 真正町中央公民館
愛知県 扶桑町中央公民館
愛知県 小坂井町中央公民館
三重県 河芸町中央公民館

第43回（平成2年度）

富山県 小杉町立太閤山中部公民館
石川県 七尾市矢田郷公民館
福井県 織田町中央公民館
岐阜県 瑞浪市中央公民館
愛知県 蟹江町中央公民館

第44回（平成3年度）

富山県 富山市立岩瀬公民館
福井県 福井市中藤島公民館
岐阜県 笠原町中央公民館
愛知県 大府市大府公民館

第45回（平成4年度）

石川県 津幡町中条公民館
福井県 福井市旭公民館
岐阜県 安八町中央公民館

第46回（平成5年度）

石川県 小松市立稚松公民館
福井県 福井市東藤島公民館
岐阜県 美濃市中央公民館
愛知県 安城市桜井公民館

第47回（平成6年度）

富山県 魚津市本江公民館
石川県 金沢市額公民館
福井県 武生市国高公民館
岐阜県 可児市今渡公民館
愛知県 犬山市南部公民館
三重県 名張市桔梗が丘公民館

第48回（平成7年度）

富山県 高岡市立野村公民館
石川県 輪島市立野町公民館
岐阜県 神岡町中央公民館
三重県 二見町公民館

第49回（平成8年度）

富山県 婦中町中央公民館
愛知県 常滑市立南陵公民館
石川県 松任市山島公民館
岐阜県 中津川市苗木公民館
愛知県 藤岡町中央公民館
三重県 多気町中央公民館

第50回（平成9年度）

富山県 福光町立福光公民館
石川県 金沢市菊川町公民館
岐阜県 羽島市立中央公民館
愛知県 尾西市南部公民館

第51回（平成10年度）

富山県 高岡市立東部公民館
石川県 能都町立宇出津公民館
岐阜県 海津町海津公民館
愛知県 安城市北部公民館
三重県 久居市立中央公民館

第52回（平成11年度）

富山県 富山市立上条公民館
石川県 珠洲市立直公民館
岐阜県 関市中央公民館
愛知県 瀬戸市效範公民館
三重県 亀山市立中央公民館

第53回（平成12年度）

富山県 小杉町立三ヶ公民館
石川県 松任市立宮保公民館
岐阜県 美濃加茂市中央公民館
愛知県 新城市西部公民館

第54回（平成13年度）

富山県 富山市立長岡公民館
石川県 珠洲市立飯田公民館
福井県 福井市東安居公民館
岐阜県 宮村中央公民館
岐阜県 穂積町中央公民館
愛知県 七宝町中央公民館

第55回（平成14年度）

富山県 砺波市立林公民館
石川県 七尾市石崎公民館
福井県 大野市下庄公民館
岐阜県 恵那市中央公民館
岐阜県 安八町中央公民館
愛知県 安城市南部公民館

第56回（平成15年度）

富山県 福岡町立大滝公民館
石川県 輪島市立輪島公民館
福井県 福井市東郷公民館
福井県 三国町中央公民館
岐阜県 八幡町中央公民館
岐阜県 可児市下恵土公民館
愛知県 豊田市生涯学習センター松平交流館
愛知県 知多市中部公民館

第57回（平成16年度）

富山県 宇奈月町中央公民館
富山県 小矢部市立北蟹谷公民館
石川県 穴水町立諸橋公民館
福井県 福井市啓蒙公民館
福井県 武生市南公民館
岐阜県 各務原市西生涯学習センター
岐阜県 飛騨市古川公民館
愛知県 江南市立古知野北公民館
愛知県 足助町公民館

第58回（平成17年度）

富山県 高岡市立平米公民館
石川県 輪島市立河原田公民館
福井県 福井市岡保公民館
福井県 越前市岡本公民館
岐阜県 多治見市立養正公民館
岐阜県 上石津町立公民館
愛知県 田原市野田市民館
愛知県 尾張旭市中央公民館
三重県 紀北町東長島公民館

第59回（平成18年度）

富山県 富山市立保内公民館
石川県 金沢市西南部公民館
石川県 能登町立秋吉公民館
福井県 福井市春山公民館
福井県 小浜市加斗公民館
岐阜県 美濃市藍見公民館
岐阜県 御嵩町立伏見公民館
愛知県 稲沢市大里西公民館
愛知県 一色町公民館

第60回（平成19年度）

富山県 高岡市立古府公民館
富山県 砺波市立太田公民館
石川県 能登町立不動寺公民館
福井県 福井市麻生津公民館
福井県 越前市味真野公民館
岐阜県 瑞穂市巢南公民館
岐阜県 多治見市市之倉公民館
愛知県 阿久比町立草木公民館
愛知県 豊川市御油公民館

第61回（平成20年度）

富山県 上市町立南加積公民館
石川県 七尾市相馬公民館
石川県 白山市立加賀野公民館
福井県 大野市大野公民館
福井県 小浜市中名田公民館
岐阜県 多治見市南姫公民館
岐阜県 坂祝町中央公民館
愛知県 弥富市中央公民館
愛知県 碧南市新川公民館

第62回（平成21年度）

富山県 魚津市下中島公民館
石川県 加賀市立動橋公民館
石川県 七尾市袖ヶ江公民館
福井県 福井市湊公民館
福井県 若狭町熊川公民館
岐阜県 郡上市川合公民館
岐阜県 多治見市旭ヶ丘公民館
愛知県 東郷町中央公民館
愛知県 蒲郡市大塚公民館

第63回（平成22年度）

富山県 入善町飯野公民館
富山県 小矢部市立薮波公民館
石川県 白山市立御手洗公民館
石川県 輪島市立鳳至公民館
福井県 美浜町中央公民館
福井県 越前市武生東公民館
岐阜県 恵那市明智公民館
岐阜県 関ヶ原町立関ヶ原中央公民館
愛知県 扶桑町中央公民館
愛知県 豊田市生涯学習センター若林交流館

第64回（平成23年度）

富山県 魚津市大町公民館
富山県 南砺市高瀬西公民館
石川県 珠洲市立大谷公民館
石川県 加賀市立大聖寺公民館
福井県 福井市円山公民館
福井県 鯖江市立待公民館
岐阜県 恵那市岩村コミュニティセンター
岐阜県 郡上市相生公民館
愛知県 武豊町立中央公民館
愛知県 豊橋市東陽地区市民館

第65回（平成24年度）

富山県 小矢部市立若林公民館
富山市 立五福公民館
石川県 金沢市大野町公民館
石川県 輪島市立西保公民館
福井県 福井市森田公民館
福井県 越前市神山公民館
岐阜県 可児市桜ヶ丘公民館
岐阜県 恵那市上矢作コミュニティセンター
愛知県 安城市西部公民館
愛知県 一宮市大和公民館

第66回（平成25年度）

富山県 魚津市村木公民館
富山県 高岡市立牧野公民館
石川県 白山市立鶴来公民館
石川県 珠洲市立蛸島公民館
福井県 福井市社北公民館
福井県 鯖江市豊公民館
岐阜県 多治見市精華公民館
岐阜県 郡上市口明方公民館
愛知県 田原市衣笠公民館
愛知県 豊明市南部公民館

第67回（平成26年度）

富山県 滑川市中加積地区公民館
富山県 高岡市立成美公民館
石川県 金沢市東浅川公民館
石川県 輪島市立鶴巣公民館
福井県 小浜市今富公民館
福井県 越前市花筐公民館
岐阜県 瑞浪市稲津公民館
岐阜県 御嵩町立御嵩公民館
岐阜県 多治見市学習館
愛知県 西尾市吉良町公民館
愛知県 あま市甚目寺公民館

第68回（平成27年度）

富山県 立山町立新瀬戸公民館
富山県 氷見市窪公民館
石川県 七尾市高階公民館
石川県 加賀市立片山津公民館
福井県 福井市安居公民館
福井県 おおい町名田庄公民館
岐阜県 土岐市立鶴里公民館
岐阜県 郡上市立西和良公民館
愛知県 半田市立住吉公民館
愛知県 豊川市豊川公民館

第69回（平成28年度）

富山県 上市町立柿沢公民館
富山県 砺波市立青島公民館
石川県 羽咋市立千里浜公民館
石川県 白山市立林中公民館
福井県 福井市和田公民館
福井県 越前市大虫公民館
岐阜県 郡上市白鳥地域公民館
岐阜県 恵那市中野方コミュニティセンター
愛知県 大町中央公民館
愛知県 碧南市中部公民館

第70回（平成29年度）

富山県 黒部市立下立公民館
富山県 砺波市立梅檀山公民館
石川県 津幡町刈安公民館
石川県 珠洲市立若山公民館
福井県 鯖江市北中山公民館
福井県 福井市木田公民館
岐阜県 郡上市明宝地区公民館
愛知県 蒲郡市形原公民館
愛知県 尾張旭市瑞宝公民館

第71回（平成30年度）

富山県 魚津市加積公民館
富山県 南砺市南山田公民館
石川県 白山市立湊公民館
石川県 能登町立三波公民館
福井県 越前市岡本公民館
福井県 福井市清水西公民館
岐阜県 瑞浪市釜戸公民館
岐阜県 多治見市小泉公民館
愛知県 幸田町中央公民館
愛知県 愛西市佐織公民館

第72回（令和元年度）

富山県 朝日町立大家庄公民館
富山県 射水市三ヶコミュニティセンター
石川県 金沢市瓢箪町公民館
石川県 加賀市立金明公民館
石川県 七尾市能登地区コミュニティセンター
福井県 福井市酒生公民館
福井県 永平寺町永平寺公民館
岐阜県 多治見市脇之島公民館
岐阜県 瑞浪市日吉公民館
岐阜県 恵那市笠置コミュニティセンター
愛知県 大府市立北山公民館
愛知県 豊橋市本郷地区市民館

第73回（令和2年度）

富山県 小矢部市立松沢公民館
富山県 黒部市立若栗公民館
石川県 白山市立吉野谷公民館
石川県 津幡町条南公民館
福井県 越前市南中山公民館
福井県 福井市清明公民館
岐阜県 瑞浪市陶公民館
岐阜県 美濃市洲原公民館
岐阜県 多治見市根本交流センター
愛知県 北名古屋市中公民館
愛知県 知立市中央公民館

第74回（令和3年度）

富山県 滑川市滑川東地区公民館
富山県 砺波市立雄神公民館
石川県 金沢市鞍月公民館
石川県 輪島市立浦上公民館
福井県 高浜町立和田公民館
福井県 福井市河合公民館
岐阜県 瑞浪市大湫公民館
愛知県 田原市福江市民館
愛知県 常滑市南陵公民館

第75回（令和4年度）

富山県 朝日町立山崎公民館
富山県 南砺市南山見交流センター
石川県 珠洲市立立正院公民館
石川県 野々市市富奥公民館
福井県 坂井市大関コミュニティセンター
福井県 おおい町佐分利公民館
岐阜県 御嵩町上之郷公民館
岐阜県 中津川市付知公民館
愛知県 大治町立公民館
愛知県 豊田市若園交流館

第76回（令和5年度）

富山県 富山市立速星公民館
富山県 射水市金山コミュニティセンター
石川県 羽咋市立邑知公民館
石川県 白山市立出城公民館
福井県 永平寺町上志比公民館
福井県 坂井市兵庫コミュニティセンター
岐阜県 郡上市和良地域公民館
岐阜県 恵那市武並コミュニティセンター
愛知県 大府市立神田公民館
愛知県 豊川市小坂井生涯学習センター

第77回（令和6年度）

富山県 高岡市立福岡公民館
富山県 朝日町立笹川公民館
石川県 津幡町井上公民館
石川県 金沢市松寺公民館
福井県 越前市北日野公民館
福井県 福井市国見公民館
岐阜県 垂井町府中地区まちづくりセンター
愛知県 犬山市南部公民館
愛知県 碧南市立棚尾公民館

第78回（令和7年度）

富山県 黒部市立浦山公民館
富山県 高岡市福田地域交流センター
石川県 加賀市立橋立公民館
石川県 穴水町立穴水公民館
石川県 白山市立蝶屋コミュニティセンター
石川県 金沢市富樫公民館
福井県 福井市清水東公民館
岐阜県 土岐市立肥田公民館
愛知県 蒲郡市府相公民館
愛知県 瀬戸市水南公民館

5 東海北陸公民館連合会会則

(名称組織)

第1条 本会は、東海北陸公民館連合会（以下「連合会」という）と称し、石川県、岐阜県、福井県、愛知県、富山県、三重県の公民館連合会（以下「県公連」という）を以て組織とする。

(事務所)

第2条 本連合会の事務所は、当番県の県公連事務所に置く。

(目的)

第3条 本連合会は、第1条の県公連に所属する公民館およびその類似施設相互の連絡を密にし、公民館活動の振興発展をはかることを目的とする。

(事業)

第4条 本連合会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1 東海北陸公民館大会（全国公民館研究集会を兼ねる）の開催

※ ただし、全国公民館研究集会が首都圏で開催される年度は、東海北陸公民館大会は開催しない。

2 研修会、講演会、協議会等の開催

3 資料及び情報の交換

4 その他目的達成のため必要な事業

(役職員及び任期)

第5条 本連合会に次の役職員を置き、任期は1年とする

会 長 1名 副会長 1名 理 事 若干名

事務局長 1名 幹 事 若干名

(役職員の選出及び任務)

第6条 役職員は理事会において選出し、任務は次のとおりとする。

会長は本連合会を代表し、会務を総理する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

理事は本連合会の会務を審議し、その運営に参画する。

事務局長は本連合会の事務を処理する。

幹事は本連合会の会務に参与する。

(理事会)

第7条 理事会は、県公連から選出された理事によって構成し、毎年当番県において定例理事会を開く。

ただし、必要に応じ臨時理事会を開くことができる。

理事会は会長が招集し、これを司会する。

理事会は定数の過半数の出席で成立し、議決は出席者の過半数による。

幹事は理事会に出席する。

(経費及び会計年度)

第8条 本連合会の経費は、毎年度予算の定めるところによる。

本連合会の年度は、4月1日に始まり翌年3月31日で終わることを原則とする。

(会則の変更)

第9条 本会則の改正は、理事会の議決を得なければならない。

(附 則)

1 本会則でいう当番県とは、本連合会長の所属県とし、毎年交替制とする。

2 本会則は、昭和37年12月5日から施行する。

3 本会則は、平成25年11月18日の臨時理事会にて承認、即日施行する。

4 本会則は、平成28年2月9日の理事会にて一部改正し、即日施行する。

5 本会則は、令和7年3月7日の理事会にて一部改正し、即日施行する。

[東海北陸公民館大会開催県順の申合せ]

三重県→福井県→愛知県→富山県→岐阜県→石川県